

平成30年度 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁
税についての作文 清瀬市長賞

「税で得られる豊かな生活」

清瀬第二中学校 三年 井上 静流

私は税金というと「物を買っても家や車を持っていても払わなくてはいけない。住んでいる市などにも払わなくてはいけない。働いて稼いでも払わなければいけない。」と、とにかくマイナスのイメージしか持っていないかった。しかし一方的に払わされていると感じるだけで、実際には税について深く考えたこともなく、その必要性も理解できていなかった。

そこで税について理解する為、国税庁のホームページを開いてみた。そこでは税とは何か、どのようなことに使われているのか等、分かり易く説明されており、納められた税金は私たちの安全を守る警察や消防、道路や水道の整備等「みんなのために役立つ活動」や、年金、医療、福祉、教育等「社会の助け合いのための活動」に使われているとあった。

私達が学校に通い、そこでの設備、備品を使って学習する。交番におまわりさんがいる。火事や災害時、病気の時等は消防車・救急車が出動する。蛇口をひねればきれいで美味しい飲み水が出てくる。こ

んな当たり前とも思える日常の多くのことが税金によって支えられているということを改めて認識した。

もし税というものがなければ、お金に余裕のある人だけが学校に通い、みんなが平等に教育を受けることができなくなるだろう。警察、消防に対してもその都度お金を払ってお願いしなくてはならない。すると何かあってもすぐに警察、消防を呼べなくなる状況が起こり、安心安全な生活が脅かされる。医療や介護費用も全て自分で負担しなくてはならない。水道、道路、ゴミ処理等もきちんと整備されないうまま、不便で不衛生な環境で暮らさなくてはならなくなる。これだけでも考えるだけでぞっとする思いだ。当たり前だと思っていたことが、一変して豊かなものに思えてきた。私は税に対する否定的な考えを改めると共に、その必要性、重要性について考えさせられた。

世の中にはまだまだ「なぜ税金を払わなければいけないんだ。」と思う人がたくさんいるだろう。しかし、それを知らうとするきっかけさえあれば、税の必要性を知ることができ、理解することにもつながると思う。まずは関心を持つことが大切なのだ。そうすれば自分の身の回りでもどれ程税金を必要としているものがあるのか、税金によってどれだけ豊かな生活を送ることができているのか理解できるだろう。

安心、安全で豊かな暮らしが当たり前にできているのは、みんなが負担している税のおかげであり、国民全体で助け合っていると見える。そして将来もこれを維持していく為には、やはり納税の義務を果た

すことが大切だ。だから「払った税金は自分に還元される」というように、納税をプラスのイメージとして捉えていこうと思う。